

調剤関連機器 カタログ

2018 春・夏版



◆ 調剤支援ソリューション

■ レセプトコンピュータ

- ▶ 株式会社ユニケソフトウェアリサーチ
- ▶ PHC 株式会社
- ▶ 株式会社 EM システムズ
- ▶ 東日本メディコム株式会社
- ▶ 株式会社シグマソリューションズ

■ 電子お薬手帳

- ▶ ソニー株式会社

■ モバイルアプリ

- ▶ 株式会社ズー

スマートな保険薬局に、スマートな電子薬歴

患者さま情報と監査データを照合して、安全な薬学的管理を実践。「かかりつけ薬剤師」として必要なス

調剤前確認/監査

機能的な画面構成で、必要な情報を的確に把握

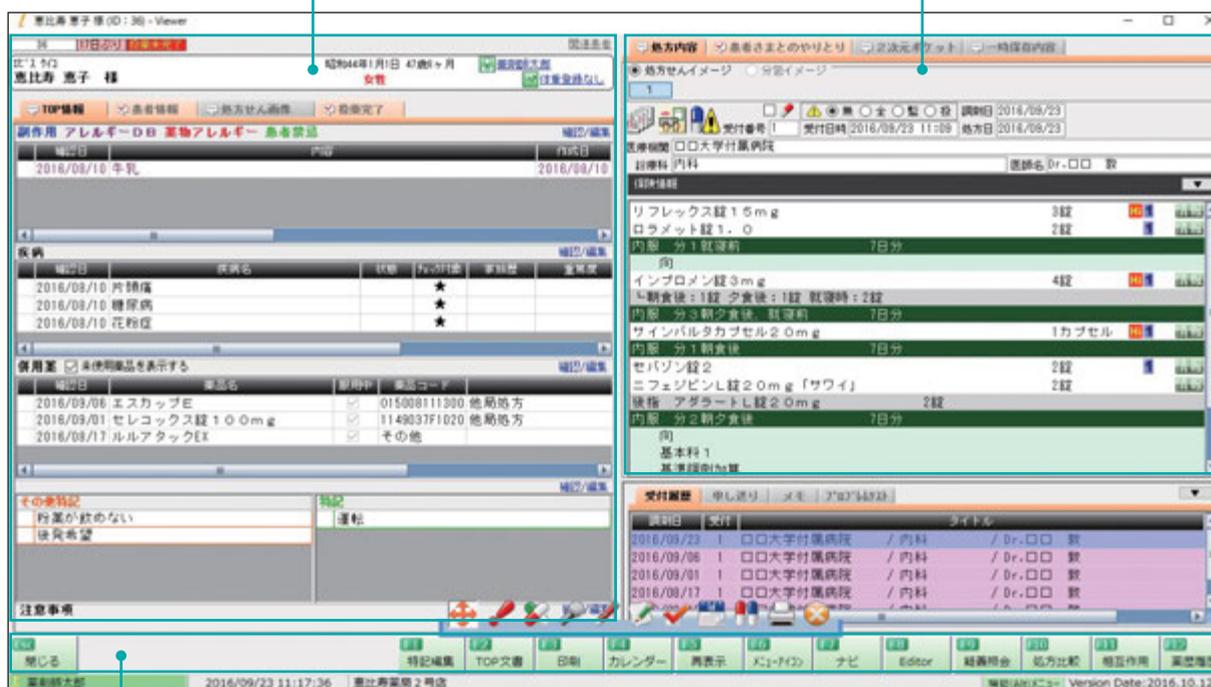
薬歴の基本画面は、紙薬歴簿を見開いたイメージで、画面左側は患者さまの「頭書き情報」(=1号用紙)を、画面右側は「今回処方や過去薬歴」(=2号用紙)を表示し、監査時に必要な情報をひと目で分かり易く確認できるレイアウトになっています。

【患者さま頭書き】(TOP 情報)

患者さまの「アレルギー」「疾病」「併用薬」「特記事項」などをひと目でポイントが確認できます。

【処方内容表示】

今回処方のチェック。「受付履歴」切り替えて過去の処方内容も表示できます。



【ファンクションボタン】

機能ボタンはファンクションキーに集約されているため、操作性に優れています。

タブレットによるハイブリッド運用



ロケーションフリーの可搬性のあるタブレット型電子薬歴「P-POS FreeStyle[®]」なら、持ち運びしながら、今回処方や過去薬歴を見ながらの監査チェックが行え、調剤室のスペースを有効に活用できるツールとなります。

調剤前確認



処方せん入力と並行して、タブレットで前回受付との照合を行えます。調剤前に確認事項をおさえられ、待ち時間短縮につながります。また薬歴記入においても効率化が図れます。

[®]P-POS FreeStyleは、P-POS iのオプションです。

ピーディーでもれのない業務をバックアップします。



高度支援型データベースを活用した監査を実現

チェック機能を兼ね備えた監査型から、薬剤師が安心して業務に精通していただくために気づきを促す高度支援型へ進化を遂げた「P-POS i」のデータベース。オンラインコンテンツとしても提供が可能な最新の医薬品データは、相互作用チェックだけでなく、患者さまとのコミュニケーションにも幅広く活用することができます。



薬品相互作用 画面

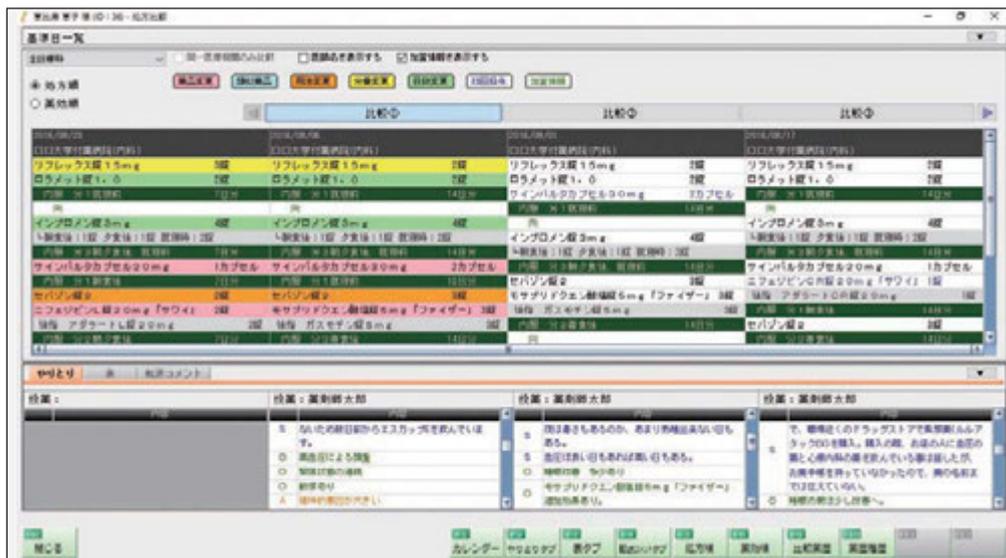


ナビ機能(おくすりの確認) 画面

【搭載している主な医薬品データ】

- ・相互作用（医療用、OTC）
チェック用データ
- ・疾病、医薬品投与チェック用
データ
- ・投与量チェックデータ
- …など

過去の処方内容からの変更をひと目で確認



今回処方と前回処方の違いが、色分けによりひと目でわかります。また、先発品から後発品へ変更のあったお薬なども「類似薬品」としてチェックできます。



お客様の声

電子薬歴にタブレット型のFreeStyleを追加したことで、業務のパフォーマンスが格段に向上しました。

(東京都／西武薬局 今井先生)

監査中に確認したいことがある場合は、タブレットのFreeStyleを持って待合室へ移動し、症状の変化やコンプライアンスなどをお聞きします。薬局のレイアウトに固定されずに、調剤業務とやりとりを並行して行えるので、動きの無駄がなくなりました。見たい薬歴のデータや記入量が多い場合は、パソコン型を活用するなど、電子薬歴のデバイスを使い分ける事で、業務全体のパフォーマンスが格段に向上しました。

薬歴情報や高度データベースを効率よく確認で時間をいっそう有効に使えるようになりました

「対物業務」から「対人業務」へ。患者さまの薬歴や最新医薬品データベースなど豊富な情報をもとに、一人

服薬指導/薬歴記入/後算定

多彩な薬歴入力機能でプラスアルファの活用

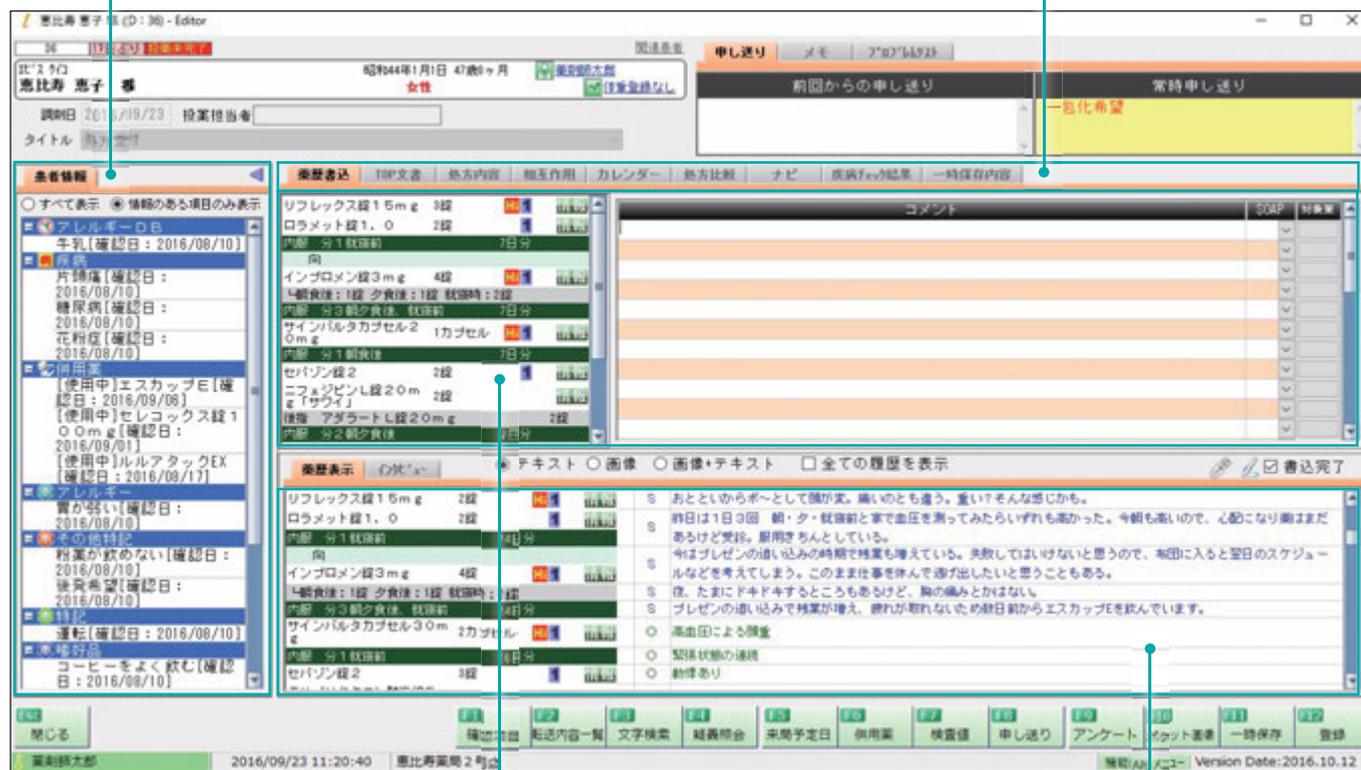
薬歴の記入では、今回処方内容を表示するだけでなく、頭書き・申し送り・過去歴、そして医薬品データベースを閲覧しながらの作成が可能です。より効率的に薬歴記入ができるように、ドラッグ&ドロップを活用しての引用も可能です。

【患者さま頭書き】（「TOP情報」参照エリア）

患者さまの「アレルギー」「疾病」「併用薬」「特記事項」などを確認しながら薬歴が記入できます。

【同時参照機能タブ】

タブの表示順が変更でき、必要画面を簡単に呼び出せます。



【薬歴記入】（「処方内容」参照エリア）

今回処方を確認しながら、コメントエリアにSOAP形式で薬歴を記入できます。

【過去薬歴】

（「過去処方」「服薬指導データ」参照エリア）
過去処方や服薬指導内容を確認できます。



タブレット運用によって患者さまと双方向の服薬指導を実現

タブレット型電子薬歴「P-POS FreeStyle[®]」の利用で、待合室の患者さまとコミュニケーションしながら薬歴の確認や記入ができます。パソコンまで移動しなくても処方比較、相互作用の確認や薬歴の記入がスマートに行えます。

※P-POS FreeStyleは、P-POS iのオプションです。

きるので、

保険薬局様向け
電子薬歴システム

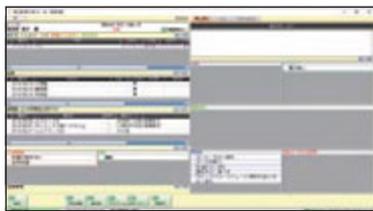
P-POS i

ひとりの患者さまと丁寧に向き合う服薬指導が行えます。

SPNets P-POS FreeStyle

確認したい画面を順番に自動切替するオートシーケンス

調剤業務で必要となる複数の画面を、ボタンひとつで順番に自動切替できるようにあらかじめ設定しておけます。端末ごとに異なる設定ができるので、投薬カウンターや調剤室など使用用途や場面に合わせて切替える順番を変えられ、業務の効率化やチェーン店内におけるオペレーションの統一が図れます。



TOP情報 画面



処方比較 画面



やりとり履歴 画面

服薬指導からシームレスに会計へ連携

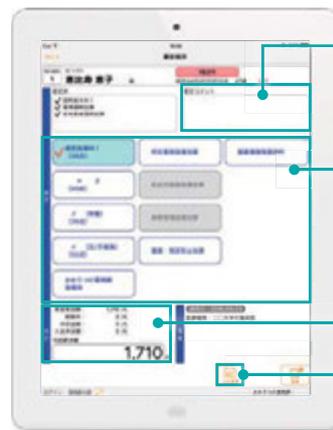
投薬時の服薬指導情報をもとに、シームレスに算定指示・会計へ。レセコンとの一体型なので同一端末でスピーディーな会計業務を実現し、患者さまの待ち時間を減らすことができます。



算定指示 画面

タブレットの使用でロケーションフリーな算定業務

タブレット型電子薬歴「P-POS FreeStyle[®]」の利用により、患者さまの側で会計が行えます。薬学管理料などの算定をレセコンまで移動せずその場で入力が行え、患者さまサービス向上と会計業務の効率化が図れます。



患者さまごとに、算定に必要なコメント情報を確認できます。

“かかりつけ薬剤師指導料”や“特定薬剤管理指導加算”など薬学管理料を中心とした後算定運用に対応しています。

後算定結果に応じて、一部負担金を表示します。

算定確定後、領収書・調剤明細書・調剤録の印刷指示ができます。

※P-POS FreeStyleは、P-POS iのオプションです。



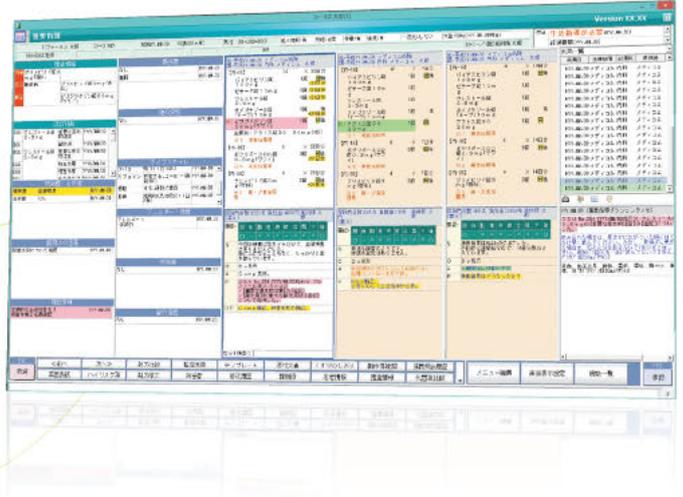
お客様の声

服薬指導カウンターでは、アドヒアランス向上の動機づけのためにタブレットを活用。

(東京都／あおぞら薬局 田村先生)

疾病などによって、服用方法が正しく理解されていなかったり、服用を忘れ、コンプライアンスが不良になりがちなケースでは、「薬歴カレンダー」機能を活用し、その理由を確認して服薬指導を行います。指導した内容のポイントをすぐにタブレットで入力し、手が空いたときに調剤室のパソコンで薬歴に加筆することで業務を効率化。その結果、薬剤師の退社時刻が今までより早くなりました。

保険薬局用電子薬歴システム



フルHD画面による薬歴一覧表示

患者さんの薬歴が一画面で確認

患者さんの薬歴表紙、監査情報、過去薬歴などを一度に表示できます。
必要な情報を一画面で確認でき、処方監査、薬歴作成がスムーズに行えます。

薬歴表紙 + 監査情報 + DSU

今回薬歴

過去薬歴

生活指導

来局情報

相互作用や副作用などのチェック結果と添付文書の改訂情報を表示

今回と前回の調剤内容を比較し変更された箇所は色つきでわかりやすく表示

指導内容の文字色と背景色を変更可能

「必要な情報を一画面で確認できるから患者さんの薬歴確認が楽ですね」

▶ 処方比較結果をひと目で確認

今回と過去4回分の処方を表示

今回処方と過去4回分の調剤内容、指導内容を横並びで表示し、変遷を容易に確認できます。また、処方の変更点が新規や追加、日数変更などを色付けて表示されるので一目で確認できます。

処方参照エリア
今回と過去4回分の処方を表示し、処方の変遷が確認できます

処方比較結果／指導内容表示エリア
処方比較結果と指導内容の表示を切り替えることが可能

今回と前回の調剤内容を比較し、変更された箇所は色つきでわかりやすく表示

▶ 選択メニューで情報確認

長期投薬患者の来局予測もチェック

選択メニューに、長期投薬患者の来局予測を表示。医薬品の在庫確認に活用できます。また、薬局独自の予定が入力できるカレンダー表示、プログラムやデータベースの配信情報、月別、年代別の患者数、調剤点数などの統計情報も確認できます。

長期投薬患者来局予測表示

長期投薬患者

日	水	木	金	土	日	月	火	水
8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2	3	4

カレンダー表示／週カレンダー／配信情報／統計情報表示

「医薬品に関する情報が充実しているので、

▶ 充実したチェック機能で処方監査をサポート

監査機能一覧

- ▶ 用量チェック
- ▶ 服用時点チェック
- ▶ 重複投薬チェック (同種同効薬/配合剤成分を含む)
- ▶ 相互作用チェック
- ▶ 妊婦・授乳婦チェック
- ▶ アレルギーチェック
- ▶ 問診疾患禁忌チェック
- ▶ 休薬期間チェック
- ▶ OTC 医薬品相互作用チェック
- ▶ 粉碎・分割 (脱カプセル)・一包化不可チェック

重複投薬チェック

重複投薬チェックでは、同種同効薬の重複、配合剤成分の重複にも対応しており、より詳細なチェックが可能です。

バルジピンL A 20mg (HY,MM,DD), アタラートCR錠 10mg (HY,MM,DD) 同効薬重複 【薬効分類】 ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬 (Ca拮抗薬) ガスターD錠 20mg (HY,MM,DD), タケプロンOD錠 15 15mg (HY,MM,DD) 同効薬重複 【薬効分類】 H2受容体拮抗薬, プロトンポンプ阻害薬 (PPI)
--

OTC 医薬品相互作用チェック

患者さんが服用されているOTC医薬品と処方薬に関して、相互作用チェック機能で調剤業務を支援します。また、チェックするOTC医薬品は、「要指導医薬品～第3類」まで設定可能です。

オーラップ錠 3mg (HY,MM,DD) ● (OTC)ガスター-10 禁忌 (Q T延長を起すことが知られている薬剤に該当) (Q T延長・心室性不整脈等の重篤な副作用)

休薬期間チェック

休薬期間が必要な医薬品をチェックし、患者さんへの服薬指導を支援します。

患者さん
向け
帳票

粉碎・分割 (脱カプセル)・一包化不可チェック

粉碎・分割 (脱カプセル)・一包化ができない医薬品を警告表示し、注意を促します。

デバケン錠 100mg ● (分割、破り、アセル不可) 【粉砕不可】 錠剤が崩壊し、服用直前までフィルムコートから取り出さないと下痢や腹痛が生じ、併用薬剤までフィルムコートが剥離しないよう警告表示し (本剤をフィルムコートから取り出し一包化調整することは避けて下さい)。 一包化不可 錠剤が崩壊し、服用直前までフィルムコートから取り出さないと下痢や腹痛が生じ、併用薬剤までフィルムコートが剥離しないよう警告表示し (本剤をフィルムコートから取り出し一包化調整することは避けて下さい)。 片手錠・丸手錠も 0.5mg ● (分割、破り、アセルに不可あり) 【粉砕に条件あり】 エンビユーフォームに包膜、舌膜が溶解する際のフィルムコートとし、服用しやすくした アリセド錠 3mg ● 一包化に不可あり 自動投薬器使用時の誤りや誤りがあるため、カセットのセット位置及び投薬回数などに配慮する。

▶ 医薬品を選択して添付文書をすばやく表示

紙と同じ医薬品添付文書、OTC 医薬品添付文書を画面上で確認

処方薬を右クリックして「PDF 添付文書」を選択することで、該当の添付文書をすばやく表示、確認することができます。また、患者さんが服用しているOTC医薬品について調べたいときも、簡単操作でOTC医薬品添付文書を表示させることができます。

添付文書(PDF)

OTC 医薬品添付文書(PDF)

患者さんに適切な服薬指導ができますね」

▶添付文書の改訂情報を随時配信

使用上の注意の改訂情報で適切な服薬指導

添付文書の改訂に関する「使用上の注意の改訂情報」および「DSU（医薬品安全対策情報）」をまとめた「使用上の注意の改訂情報データベース」をネット経由で配信します。
添付文書の改訂情報をタイムリーに確認できるので、患者さんへの情報提供や服薬指導に参考にいただけます。

改訂情報一覧																											
DSU (No. 222) 発行日: YYY/YM/20																											
医薬品名: コディオ配合錠EX																											
一般的な名称: パルサルタン・ヒドロクロロチアジド																											
<input type="checkbox"/> 重要 【副作用】の【重大な副作用】一部改訂	「中毒性表皮剥離症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Sjogrens-Johnson症候群)、多形紅斑」 「中毒性表皮剥離症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑」があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。																										
<input type="checkbox"/> 重要 【副作用】の【重大な副作用】追加	「気虚感、眩暈感」 「気虚感、眩暈感」があらわれることがあるので、水腫、びくなどがある場合は、皮膚科医と相談し、投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。																										
医薬品名: コディオ配合錠EX																											
一般的な名称: パルサルタン・ヒドロクロロチアジド																											
<input type="checkbox"/> その他 【相互作用】の【併用注意】一部改訂	「リウム(臨床症状・措置方法: 便秘、消化器障害等、リウム中毒を増強することがある。血中リウム濃度に注意すること。秩序・危険因子: ヒドロクロロチアジドは腎におけるリウムの再吸収を促進し、リウムの血中濃度を上昇させる。)(臨床症状・措置方法: 血中リウム濃度が上昇し、リウム中毒を起こすことが報告されているので、血中リウム濃度に注意すること。秩序・危険因子: パルサルタンのナトリウム排泄作用により、リウムの蓄積が起こると考えられている。)」																										
<input type="checkbox"/> その他 【副作用】の【重大な副作用】一部改訂	「中毒性表皮剥離症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Sjogrens-Johnson症候群)、多形紅斑」 「中毒性表皮剥離症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑」があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。																										
<input type="checkbox"/> その他 【妊婦・産婦、授乳婦等への投与】	「妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。また、授与中に妊娠が判明した場合、直ちに投与を中止すること。」「(リウム)を含むアンジオテンシII受容体拮抗薬並びにアンジオテンシII変換酵素阻害剤、妊娠中期～末期に投与された薬物に胎児・新生児に有害な効果、胎児・新生児の低血圧、腎不全、血球減少症、肺動脈狭窄症」																										
服薬(服薬指導) <input type="text"/> について指導した。 <input type="button" value="表示設定: 過去 3ヶ月"/>																											
<table border="1"> <tr> <td>ESC</td> <td>F1</td> <td>F2</td> <td>F3</td> <td>F4</td> <td>F5</td> <td>F6</td> <td>F7</td> <td>F8</td> <td>F9</td> <td>F10</td> <td>F11</td> <td>F12</td> </tr> <tr> <td>戻る</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>再表示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>入力</td> </tr> </table>		ESC	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12	戻る					再表示							入力
ESC	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12															
戻る					再表示							入力															

▶海外渡航者へのサービスや外国人への説明に

英語版のくすりのしおり®、英語版の薬剤情報提供文書を標準搭載

英語版のくすりのしおり®、薬剤情報提供文書の発行が可能です。
海外に渡航する日本人や外国人に対して満足度の高いサービスを提供できます。

Number: I
Dear: ファーンズ 太郎 Page: 1/1
Date: Jun 25, 2017
Drug Information Sheet
Revised: 4/2009

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies/benefits. It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name: Itorol tablets 10mg
Pharmaceutical company: トーアエーシー株式会社
Active ingredient: (Isosorbide mononitrate)
Dosage form: White tablet (φ: 7.0 mm, thickness: 2.4 mm)
Print on wrapping: (Face) 121, アイローラ10mg(back) アイローラ®, 10 mg

Effects of this medicine
This medicine has vasodilatory effects on both peripheral and coronary arteries to increase blood flow. These effects improve the transport of both oxygen and nutrition into cardiac cells and reduce systemic vascular resistance, arterial pressure and workload in the heart. This medicine is usually used for the prevention and treatment of angina pectoris. It is not used for the acute relief of angina pectoris.

Before using this medicine, be sure to tell your doctor and pharmacist

- If you have previously experienced any allergic reaction (itch, rash etc.) to any medicine.
- If you have hypertension, angle-closure glaucoma, head trauma, cerebral hemorrhage, or anemia.
- If you are pregnant or breastfeeding.
- If you are taking any other medicinal products. (Some medicines may interact to enhance or diminish medicinal effects. Beware of over-the-counter medicines and dietary supplements as well as other prescription medicines.)

Being careful how to take this medicine

- Your dosing schedule prescribed by your doctor is << to be written by a healthcare professional >>.
- In general, for adults, take 2 tablets (20 mg of the active ingredient) before a day, and this may be adjusted depending on symptoms and age. If the dose seems to be insufficient, take 4 tablets (40 mg) twice a day. Strictly follow the instructions. If you miss a dose, immediately take a single normal dose. If your next regularly scheduled dose is more than 6 hours away, take your next dose according to your regular schedule. If you next regularly scheduled dose is less than 6 hours away, take your next dose 6 hours later and then return to your regular dosing schedule. You should never take two doses at one time. If you accidentally take more than your prescribed dose, consult with your doctor or pharmacist. Do not stop taking this medicine unless your doctor instructs you to do so.

英語版 くすりのしおり®

Name: ファーンズ 太郎
Health Facility: 豊田県 大井町の健康センター
Health Facility: 豊田県 大井町の健康センター
Health Facility: 豊田県 大井町の健康センター
Page: 1

Medicine name	Effects	Precautions, interactions, side effects etc.
1. Itorol tablets 10mg	This medication relaxes pain and inflammation, and reduces fever. This medication may cause drowsiness, stuffy nose, heavy sleep, and other symptoms caused by a sedative effect.	Periodic monitoring should occur. This product may cause drowsiness. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine. This medicine may cause drowsiness. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine. This medicine may cause drowsiness. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine.
2. Aspirin tablets 100mg	This medication relaxes pain and inflammation, and reduces fever. This medication may cause drowsiness, stuffy nose, heavy sleep, and other symptoms caused by a sedative effect.	Periodic monitoring should occur. This product may cause drowsiness. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine. This medicine may cause drowsiness. If you plan to be operated at another medical facility, inform the doctor and the pharmacist that you are taking this medicine.

The following medicines may interact if they are taken together. See a doctor immediately if your health and/or change when taking the medicines. (11111111)
Please see the below website for details of the medicines:
http://www.medic.co.jp/medinfo/medinfo.html

Show this table to the doctor if you visit another health facility.
 Pharmacy: 豊田県 大井町の健康センター
 Tel: 05-000-0000
 Please contact us if you have any questions.

英語版 薬剤情報提供文書

●本製品には、医療機器に該当する機能は含まれておりません。
 ※くすりの適正使用協議会開発の「くすりのしおり®」を使用しています。
 ※「くすりのしおり®」は、くすりの適正使用協議会の登録商標です。

変化に強くなる、NEXTが強くする

効率

変わる 業務環境

レセコンと服薬指導支援機能を完全一体化。業務フローに合わせて画面レイアウトも見やすい画面デザインと直感操作で、使う人を選ばず、業務を圧倒的に効率化。

薬歴管理画面



Point

- 1
- 2
- 3

Point

処方入力画面

- 1 **見やすい画面デザイン**
すっきりしたデザインとわかりやすく色分けされた画面表示で、入力や確認業務も簡単。運用に合わせて選べる画面レイアウト。
- 2 **業務を効率化するファンクションキー操作**
多彩な機能が集約されたファンクションキー。Do入力や一般名入力、代替入力など様々な処方入力も最短距離で。
- 3 **患者様への情報提供も簡単**
検査や病気に関する様々なデータを標準搭載。簡単に充実した情報提供が可能。



他にも様々な機能を標準搭載!

処方チェック/レセチェック/後算定会計/服薬指導支援/家族薬歴参照/在宅業務支援/待ち患者
処方入力連動在庫管理/医薬品情報参照/オンライン請求標準/経営管理資料/処方閲覧モバイル

する。

ReceiptyNEXTは変わり続ける。

時代の流れにいち早く柔軟に適合し、また次の変化に備えるために。



株式会社 EMシステムズ

柔軟にカスタマイズ可能。

IT

使いやすい画面レイアウト

過去処方などの参照情報は左に、記録エリアは右に表示。たくさんの情報もタブで切り替えられるから、1画面で完結。

見たい情報画面を即表示

患者メモや処方チェック、医薬品情報など、業務に便利な情報画面もボタン一つで簡単に表示。画面遷移後のファンクションキー設定も可能。

訪問管理指導支援機能も完備

薬剤師ごとに訪問スケジュールを管理。指導に必要な項目を網羅し、計画書・報告書などの書類作成も効率化。



者一覧／
システム

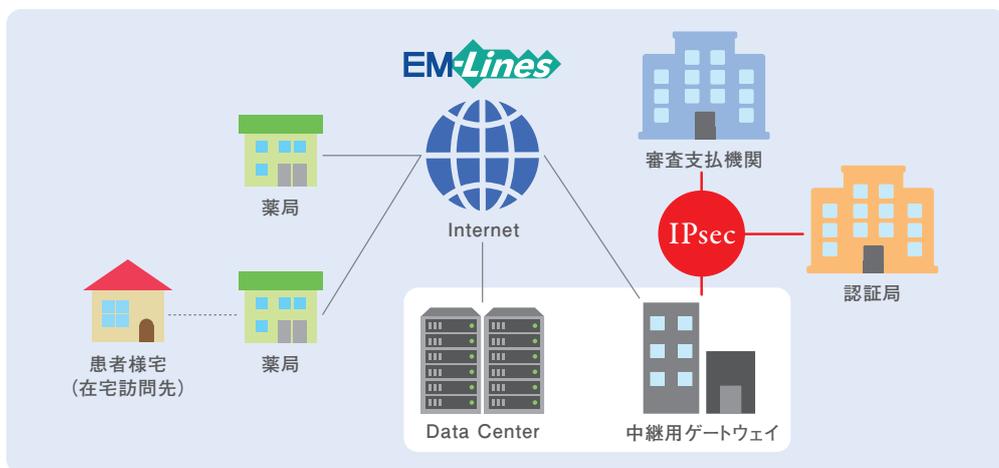
安心

変わる 危機管理

高セキュリティなネットワーク環境と、データセンターでのリアルタイム同期。

データ安全性に自信

厚生労働省医政局公表の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した高セキュリティネットワーク「EM-Lines」。レセプトオンライン請求や、EHR、更新データやバージョンアッププログラムの配信も安全にご利用いただけます。



※EM-Lines、EM-Linesリモートは株式会社NTTPCコミュニケーションズの「IP-Members (R)」を利用したサービスです。

先進的バックアップサービス

万が一の時に備えて、常に差分データがデータセンターサーバー内に蓄積されることにより、安心な「リアルタイム同期機能」を搭載しています。

EMシステムズ データセンター



Data Center

●データ復旧

リアルタイム
同期

●10分毎にデータの
同期処理

調剤薬局

外付けHDDに差分バックアップデータ、更新ログなどを日次で保存。トラブルの際にはサブマシンによる代運用が行え、長時間の業務ストップを防止します。



メインマシン 外付けHDD



サブマシン サブマシン サブマシン サブマシン

※2台以上の場合は、専用サーバーが必要となります。

全国拠点での
万全サポート体制

全国にある営業拠点のサポート体制により、アフターフォローも万全。専門スタッフがお客様のお近くで「止まらないサービス」をご提供します。

DrugstarPrime®

ドラッグスタープライム

電子薬歴、その先へ



薬歴のはじまりは顧客台帳だったと言います。

今や電子薬歴は多機能・高性能な薬局業務支援ツールとして、薬局内で重要な役割を果たしています。早く、正確に、便利に。それは当然の機能。さらなる高みは、患者さんと薬剤師を繋ぐ原点たる顧客台帳であること。様々な情報をもれなく集め、患者さんを取り巻く環境をも俯瞰的に管理し、薬局スタッフ全員で情報共有する。そんな最上の顧客台帳システムを提供したいという考えから DrugstarPrime は生まれました。

「Prime」には「最良の」「最上の」とともに、「最初の」という意味があります。

多角的に処方矛盾をチェック



薬剤名	処方数	禁忌	推測	重複	相互作用
アイロール錠 20mg	2 錠	1	1	1	1
アロニド錠 20mg	2 錠	2	7	5	2
カコフN配合錠	3 錠	2	3	1	
アイロール錠 20mg	6 錠	1	3	1	
アロニド錠 20mg	3 錠	2	1	1	

添付文書の「禁忌」「原則禁忌」欄から作成した禁忌病名データベースと、「効能・効果」欄から作成した推測病名データベースを照合して、禁忌疾患への禁忌薬投与などの矛盾点を自動的に見つけ出します。(推定禁忌チェック)



- 1 監査レベルごとに結果をリストで表示します。
- 2 監査結果の詳細はタイトル形式で表示します。

次につなげるTODOリスト



項目	確認	対応
処方内容	✓	✓
薬剤相互作用	!	!
禁忌	!	!
重複	!	!
相互作用	!	!

患者さん一人ひとりに対するきめ細かい指導をサポートするために、確認するべき内容はTODOリストがお知らせします。



- 1 TODOリストの実施記録は見やすく表示します。
- 2 聞き取り内容はボタンで選択

疑義照会の記録、履歴管理



照会	回答
日時 平成 年 月 日 時 分	日時 平成 年 月 日 時 分
担当 星 あかり	担当 星 あかり
照会手段 電話	照会手段 電話
照会内容 薬学的内容に関する疑義 禁忌	照会内容 処方変更あり 薬剤の変更 処方薬剤の削除
照会後の対応 照会内容を患者に説明した	照会後の対応 処方薬剤の削除

疑義照会内容を記録するための専用機能を搭載。疑義照会履歴を医療機関や薬剤ごとに参照することも可能です。



- 1 照会内容が画面の左回答が画面の右に配置
- 2 雛形文章からの選択で入力操作を補助します。

患者の状況を俯瞰して把握



患者ID	薬剤	検査値	イベント
001	アイロール錠	血糖値	処方
002	アロニド錠	血圧	処方
003	カコフN配合錠	腎機能	処方

薬剤カレンダー、検査値、来局、患者イベントを同時に参照できるので、患者の状況変化の把握に活用できます。検査値や患者スケジュールの内容は入力時に指導文として薬歴に記載することができます。検査入力補助機能として検査項目と病名を関連付けておくことができます。

- 1 患者スケジュール：来局日、誕生日などは自動入力されます。その他任意のスケジュールの登録可能。
- 2 薬剤カレンダー：服薬状況を視覚的に確認できます。重複期間は赤色で表示します。
- 3 検査値：定量検査をグラフで表示。定性検査はアイコンとバーで表示します。

薬局内チームプレイを支援

画面表示のリアルタイム更新など、薬局業務を円滑にするサポート機能を強化。薬局内の連携を支援することにより、薬局業務がよりスピーディーに行えます。

1 業務手順はナビゲーションパネルで表示。ボタン選択で必要な画面が表示されます。

2 作業の進捗状況は薬歴画面と待ち受け画面で連動してリアルタイムで表示されます。

3 1 端末で複数の薬歴画面を同時に開くこともできます（複数薬歴表示）。

4 薬歴画面は複数の担当者が同時に開くことができます（同時操作）。

調剤手順パネルの初期表示は、平成 21 年度日本薬剤師会受託研究「薬剤服用歴の解析に関する調査研究報告書」調剤手順に関する調査研究を参考に開発いたしました。（第十三改訂 調剤指針（日本薬剤師会）に準拠）

iPad® iPad® を Prime のクライアント化

DrugstarPrime® iPad® 用クライアントソフト

(注 1) (注 2)

調剤室
投薬カウンター

[Prime]

[iPad®]

待合室

お薬の説明にも

- ▶ **待ち時間軽減に**
待合室へ移動してヒアリングができます。
- ▶ **説明資料になる**
患者さんへの説明資料として使用できます。
- ▶ **入力 OK**
もちろん、iPad® での入力もできます。
- ▶ **持ち運びに便利**
紙薬歴同様に持ち運びできます。

iPad® 訪問薬剤管理に機動力を

Drugstar iMove® iPad® 用 訪問アプリ

(注 1) (注 2) (注 3)

身軽に訪問 OK

[薬局]

[訪問先]

計画書 報告書

- ▶ **医薬品情報の参照ができる**
医薬品情報も iPad® で参照できます。
- ▶ **データを持たない安心設計**
iPad® にはデータを持たないので安心。
- ▶ **現場で見る・書く OK !**
現場で計画書・報告書の作成ができます。
- ▶ **薬歴へ転記できる**
iPad® で入力した情報を薬歴に転記。

(注 1) 通信環境、iPad® はお客様にてご用意いただく必要があります。(iPad® 2 以降にて対応可能) (注 2) iPad® は最大 2 台まで使用可能です。(注 3) iPad® にインストールしたクライアントプログラムが、3G/LTE 回線を利用して VPN 経由で Prime サーバー / 訪問薬歴サーバーにアクセスします。薬局内においては無線 LAN 経由のアクセスも可能です。(要無線 LAN ルーター)

○開発元

東日本メディコム株式会社 システム開発部

埼玉県さいたま市北区吉野町 2 丁目 177-5 TEL 048-668-1333

- Drugstar Prime®、Drugstar iMove® は東日本メディコム株式会社の登録商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。
- iPad®、App Store® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、本広告に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本広告の内容は、改良またはその他の理由により予告なく変更する場合があります。

本広告の内容は 2013 年 4 月現在のものです。 [2013-012]

○お問い合わせ先

可視化から分析、そして「気づき」へ。
Elixir2がサポートします。



Elixir2
エリシア 2

調剤薬局ソリューションシステム

これからの調剤薬局に必要な製品・機能をご提案します

Elixir2 (エリシア2) の新機能

New!

- ・アンチ・ドーピングサポート
- ・代替薬ガイド
- ・リアルタイム・ダッシュボード
- ・かかりつけフォルダー
- ・スクラムシステム(クラウド版 本部管理 2店舗から導入可能!)

DNP健康管理支援サービス

大日本印刷株式会社 (DNP) × 株式会社シグマソリューションズ

健康サポート薬局への取り組み支援

- ・血圧、体組成などの測定値の経年観察
- ・健康相談、受診勧奨の支援
- ・患者へのセルフメディケーションサービスの提供
- ・生活習慣改善指導の支援

 株式会社シグマソリューションズ

本 社 / 〒010-8564 秋田県秋田市卸町3丁目4番1号
Tel. 018-864-1563 Fax. 018-865-1154

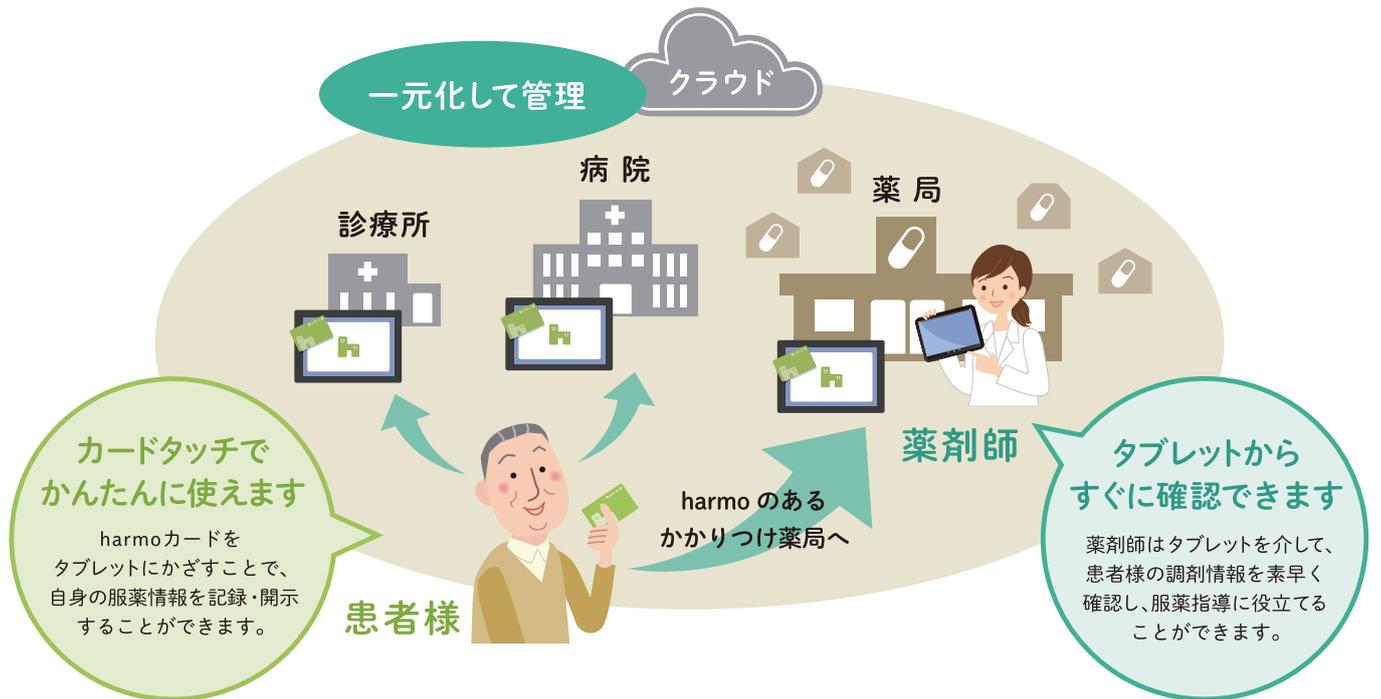
products@sigma-sol.co.jp www.sigma-sol.co.jp/
支店・営業所: 札幌/青森/盛岡/山形/仙台/福島/宇都宮/東京
Elixir2は全国どこでも販売・サポートいたします。

薬局様と患者様、双方に 使いやすいサービスです



患者様は一人1枚、自分の harmo カードを作ります。
harmo を導入している薬局では、カードをかざすだけで
お薬の情報が簡単に薬剤師に伝わります。

(スマートフォンや自宅にパソコンがない方には、紙のお薬手帳との併用をお勧めください。)



電子お薬手帳アプリにおける利用者(患者様)側の作業比較

	harmo 	一般的な電子お薬手帳 (QRコード取り込みタイプ)
サービス利用 開始方法	薬局に処方せんを持参した上で、 harmo 登録手続きを実施 ⇒薬局でレセコンに入力された個人情報を確認し、 利用規約に同意	自身でアプリを ダウンロード ⇒アプリ内で自分の 個人情報を入力
	登録時の患者様の作業がほとんどない	登録時の患者様の作業が煩雑で大変
調剤情報の 登録方法	来局時にharmoカードを かざすだけ! とてもカンタン!	・薬局にQRコードの発行を依頼して、自身で取り込む ・明細書を撮影する ・手入力 など
薬剤師が 登録された情報を 確認する方法	(患者様への連絡事項など、 一部の項目は別途入力が必要です)	・パスワードを薬剤師に伝える ・スマートフォンを薬剤師に渡す など

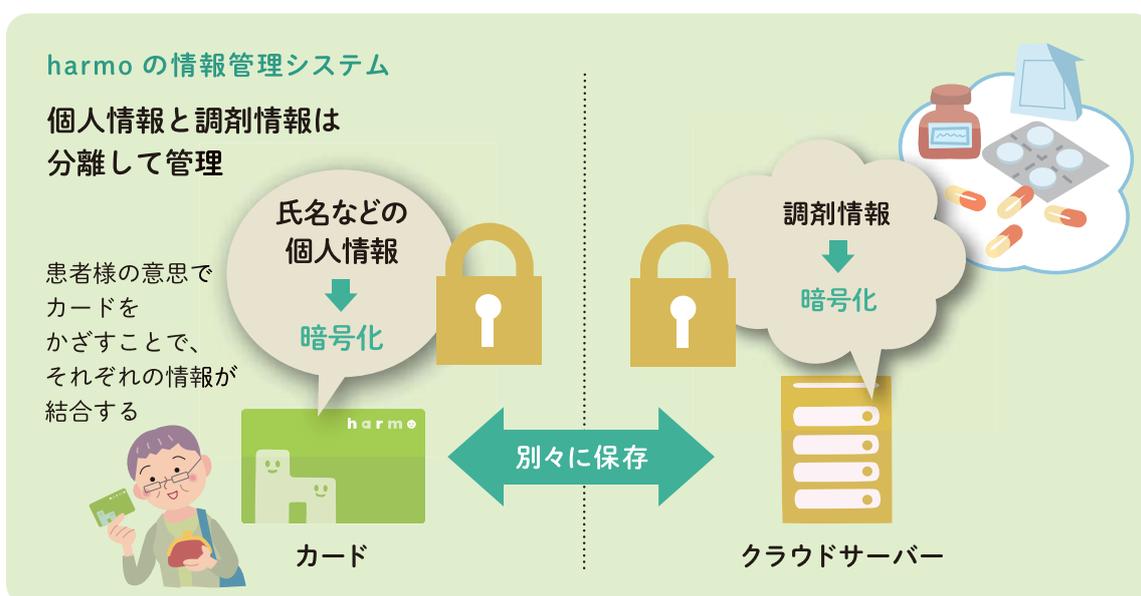
患者様の負担が少ない
(始めやすく、継続利用につながりやすい)

患者様の負担が多い
(始めるのが大変、かつ継続して使いにくい)

独自の情報分離技術で (特許取得) 高いセキュリティレベルを実現

個人を特定する情報は harmo カード (IC カード) に、
調剤情報などのデータはクラウドサーバーに、それぞれ暗号化して保存します。
harmo カードをタブレットにかざすことにより、それぞれの情報が結合します。
情報を別々に管理することで、情報の所有者を容易に特定できない
高いセキュリティレベルを実現しました。

情報管理のしくみ比較



安心して運用できる harmo の情報管理システム

調剤情報は、個人情報のなかでもとりわけ機微なものとして慎重な扱いが求められます。電子お薬手帳の普及により、いろいろな薬局で患者様の調剤データが確認できるようになる反面、どこから患者様のデータが洩れるかわからないリスクがあります。情報漏えい対策は万が一の事態も想定し、被害を最小限にとどめる仕組みまで考慮されたものでなければなりません。harmo は情報を分離して管理しているため、情報流出に関するリスクを心配することなく、安心してお使いいただけます。

先進性と有用性が各方面で
認められています。

- ・平成 26 年度総務省「情報通信白書」に掲載
- ・特許取得済

かかりつけ薬剤師を強力にサポート! 薬局が変わります!



「kusudama (薬玉)」は、薬剤師が1人1台タブレット端末を持ち、
薬局の内外問わず全ての業務をサポートする画期的なツールです。



在宅



介護施設

グループ薬局



他店



薬局



調剤薬局



局外

薬局外

ITが描く、
新しい薬局のカタチ
薬玉
kusudama





お問い合わせはこちら→



在宅業務をサポートします！

- ・残薬管理、服薬指導など忙しい現場でも直感的に操作可能です。
- ・カレンダー上から訪問スケジュールを簡単に登録できます。



薬局内の業務を「見える化」します！

- ・「誰が何の業務を行っているか」「お待たせしている患者様はいないか」等、局内の今を視覚化。全員で情報の共有化が可能。



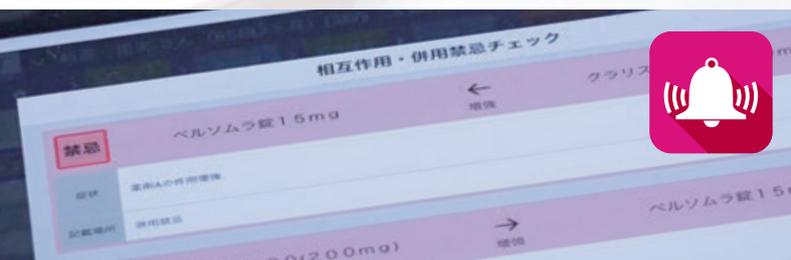
簡単「スタンプ」機能が便利！

- ・「ファックス処方箋」「店内で待機かどうか」「お急ぎかどうか」などメモを残しておきたい時は「スタンプ」機能が便利です。



タブレットのカメラ機能が活躍！

- ・受付時に処方箋をカメラ撮影と同時にQRコードが取り込まれ、受付が完了。JANコード読み取り、気軽に薬品撮影が可能。



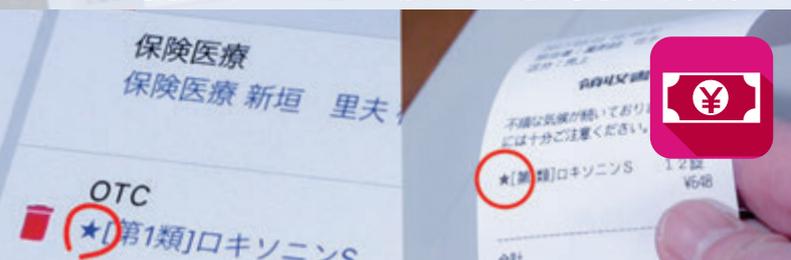
様々な「お知らせ」をしてくれます！

- ・業務処理中に、相互作用・併用禁忌・疑義照会の状況などについて通知され、画面上に、赤いバッジとして通知されます。



「薬品名を長押し」で、付加情報へアクセス！

- ・疑義照会やヒヤリ・ハット情報、添付文書の参照など、詳細な情報をすぐ調べることができます。



会計業務にも使えます！

- ・セルフメディケーション税制対応なので、「★」印がレシートも印字され、お客様の確定申告時にご利用いただけます。



「kusudamaドット インデックス」で情報分析！

- ・薬局業務履歴を集計し、受付件数推移や、疑義照会履歴など経営者視点から情報閲覧ができます。



導入事例

どこでも持ち運び簡単・らくらく♪ピッキング・監査・薬歴入力と場所を選ばないのが嬉しい！1人1台。薬剤師間で誰が何をしているのか？「調剤一覧」に表示されるのも、分かりやすく、業務がスムーズになりました。

四国地方 ○薬局様



🔍 kusudama

👉 検索

www.emedical.ne.jp

公式ツイッターで最新情報をお届け @kusudama_zoo

運営目的

いまや多くの薬局では、その業務の特殊性がゆえに、多様な機器やアイテムを利用しています。

それら機器・アイテムに備わった機能やアイデアには目を見張るものがありますが、人々の健康や生命に関わる業務に日々取り組む薬局の現場からは、より緻密な、より専門的な、より使い易いコンセプトで機器・アイテム等の製品が提供されることを望む声も少なくありません。

一方で、全国各地に点在する薬局に対しての機器・アイテムの製品情報の提供は、医薬品のそれと比べ伝達する場所、協力する機関や専門メディア等が少ないことから、十分な伝達手法があるとは言えません。

そこで「調剤関連機器カタログ」という名称で、機器やアイテムを製造・販売するメーカー等の協力を得て、全国の薬局へデジタルカタログを配信し、情報を提供します。

●このカタログに掲載された製品について

製品を本来の目的で使用する方あるいは使用を検討する方に、製品情報を集約して掲載しております。

ただし、このカタログに掲載している製品および製品に関する直接的な情報は、製造・販売元の企業等により提供されたもので、カタログの企画・運営もとは一切の責任を負いかねます。

●個人情報のお取り扱いについて

このカタログは、閲覧される方々（以下、閲覧者）の個人情報取得を目的としたものではありません。

また、何らかの理由で間接的或いは直接的に閲覧者の情報を知り得た場合には、その一切の情報保護に努め、閲覧者の許可がある場合および法律の規定による場合を除き、第三者に提供することはありません。

●掲載情報の転載に関わる禁則

掲載情報の一切は、掲載製品の製造・販売元の企業等の許可を得て運営しております。許可なくこのカタログに掲載された情報を転載または複写することを禁じます。

このカタログの企画・運営もと

株式会社薬事日報社

東京本社 〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1-11 TEL:03-3862-2141 (代) FAX 03-5821-8757
大阪支社 〒541-0045 大阪市中央区道修町2-1-10 TEL:06-6203-4191 (代) FAX 06-6233-3681

カタログへの製品掲載に関するお問合せ先